

(運営推進会議 令和2年10月26日開催)

9.質を向上させる為の取り組み

◆今回の自己評価の状況

(全職員へアンケート)		よくできている	なんとか出来ている	あまりできていない	ほとんどできていない
1	その日、その時の利用者様の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援が出来ますか？		9		
2	日々の関わりや記録から利用者様の变化に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	3	6		
3	利用者様の状態等の变化に気づき、情報共有した内容を継続して確認出来ていますか？	4	5		
4	利用者様の状態の変化等を家族様、ケアマネジャーへ報告出来ていますか？	3	5	1	

<p>出来ている点 (全職員へアンケート調査)</p> <p>①利用者様の状態やニーズに合わせた対応ができる様、職員で声を掛け合っている。連絡事項は共有ノートに記入し、朝夕内容を確認しミーティング等で共有できるようにしている。</p> <p>①利用者様の表情、言動に気を付け柔軟な対応に心掛けている。</p> <p>②朝礼、終礼を行い、その日の利用者様一人一人の様子、家族様からの伝言など情報共有を行えている。</p> <p>③記録や状態の変化など報連相を速やかに行い、疑問点は質問等し確認を行っている。</p> <p>④気になる情報は、ケアマネジャー様、家族様に報告しています。</p> <p>④状態の変化について、家族様、ケアマネジャーに報告する。主治医へ連絡して指示を受けることもあります。また他サービスを使用されている場合、ヘルパーさん、訪問看護との連携を密にして良好な関係を構築できるよう努めている。いずれもケアマネジャーを通じて実施している。</p>
<p>出来ていない点 (全職員へアンケート調査)</p> <p>①コロナ対策でアクリル板の設置、2フロアに分け対応している為、今まで提供していたレクリエーションが思うようにできていない。</p> <p>①これから予測されそうな行動、病状進行などもう一步踏み込んだ情報提供が不十分と反省することがある。</p> <p>④利用者様の対応について、全職員の介助方法の統一ができていない。</p> <p>④当事業所しか利用されていない方が、初めてショートステイを利用した時、長期入所されるということになった場合、当事業所が一番情報を持っていると思われるが、対応方法や時々おこる変化について等、ケアマネジャーに情報提供ができていない。</p>
<p>なぜ？どおして？できてないのか？その理由</p> <p>①アクリル板があることで、提供できるレクリエーションが限定されてしまうため。</p> <p>①今のところ体調はいいので問題はないと思ってしまう点が多いため。</p> <p>①同じ職員が同じ利用者様の対応に当たっていることがある。長寿の郷のPTさんとの連携があるが活用ができていないため。</p> <p>④定期的な教育の場が設けられていないため。</p>

<p>具体的な改善計画</p> <p>①アクリル板があっても対応可能な個別での制作等のレクリエーション提供を行う。また、物品なども個別で使用頂けるよう購入している。</p> <p>①評価制度を導入しており、職員の介助方法等、評価を行っている。</p> <p>①月～土まで職員が同じ流れが行えるよう対応していく。一人で解決ではなく、チームで取り組み、把握漏れなどもなくなる。</p> <p>④利用者様との関わり方、移乗方法、排泄方法、介助方法などマンツーマンで教育、また定期的な学習の場を作る。(会議の時等)</p> <p>①長寿の郷のPTさんへ個別のケース、介助方法を依頼し、実際の方法の指導を受ける。</p>

運営推進委員さんからのアドバイス・意見